

第 64 回運用委員会議事要旨

1. 日 時: 平成 25 年 3 月 8 日 (金) 16:00~17:00

2. 場 所: 年金積立金管理運用独立行政法人 会議室

3. 出席者: ・植田委員長 ・稲葉委員 ・臼杵委員 ・小幡委員 ・薦田委員
・佐藤委員 ・村上委員 ・山崎委員

4. 議事要旨

(1) 「平成 25 年度計画 (案) について」について
質疑等の概要は以下のとおりである。

委 員 会計検査院の指摘を受けた基本ポートフォリオの検証は、具体的にどのようなことをやろうとしているのか。

事務局 現在内部で検討している。

委 員 中期計画の見直しまでは、あと 2 年程度か。

事務局 おっしゃる通りである。

委 員 あと 2 年あるといっても、早めに準備をしていかないとなかなか議論がまとまらないのではないのか。

事務局 過去の例から考えると、来年の 2、3 月ぐらいに財政検証ができるので、それが終わったところで我々の方でも作業に取りかかるということになるのではないかと思っている。

委 員 最近、GPIF の基本ポートフォリオについていろいろと報道が出ているようだが、中には一般の人が読むと、金融環境が変わったので、GPIF も何か動いてきたかというような印象を持たせるものもある。

事務局 その点はマスコミの憶測である。基本ポートフォリオについては、これから検証するので、検証の結果次第としか言えない。

委 員 中期計画に準ずるような形で見直すことになるのか、あるいは大きな前提に変わりがなければ現行のものを続けるのか、どちらなのか。

事務局 実際に検証してみないとわからない。今後の運用委員会でご議論いただきたい。

(2) 「業務方法書 (案) について」について
質疑等はなかった。

- (3) 「管理運用方針（案）について」について
質疑等はなかった。
- (4) 「平成 24 年度第 3 四半期の運用状況について」について
質疑等はなかった。
- (5) 「資産管理機関の総合評価結果について」について
質疑等の概要は以下のとおりである。

委員 各資産管理機関ごとに特記されている事項の中で積極的に評価できるのはどのようなポイントであるのかなど、もう少し分別・整理してみると評価のポイントがクリアになるのではないかと感じる。例えば、このような方針・施策はノウハウの蓄積という観点からすると望ましい、などのメッセージを出せるようにすると、資産管理機関にいろいろな努力をさせるメルクマールになっていくのではないかと感じる。

事務局 ご指摘の点については、評価を伝達する場で工夫していきたいと思う。

以上